

**平成 25 年度 福島県外における人材育成研修会  
(岩手県第 1 回)**

実施日時	平成 25 年 10 月 17 日 (木) 10:00~15:40
実施場所	一関文化センター(一関市)
主催	環境省
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保健医療福祉関係者、教育関係者及び自治体職員</li> <li>• 住民から放射線の健康影響等の相談を受ける可能性がある方々</li> </ul>
趣旨	放射線に関し適切な情報提供を行うため、福島県に近接する岩手県の保健医療福祉関係者、教育関係者及び自治体職員等を対象として研修会を開催し、住民からの放射線の健康相談に適切に対応できる人材育成を行う。
参加人数	11 名

講演 1 では、杉浦 紳之講師（原子力安全研究協会）が放射線と健康影響について講演を行った。講演 2 では、石川 一講師（消費者庁）が食品中の放射性物質の評価と管理の現状等について、岩手県の状況等を含め講演を行った。ワークショップでは、堀口 逸子講師（長崎大学）がリスクコミュニケーションの概要、事例を紹介しながらリスクコミュニケーションの実践について講演を行った。さらにカルテットカード<sup>i</sup>を用いた参加型演習等も行われた。最後に質疑応答及び意見交換が行われた。

参加者からは、食品中に含まれる放射性物質の評価方法等について理解できた、住民からの問合せ等の対応においてリスクコミュニケーションの知識と技術が業務に生かせるとの意見が挙げられた。



杉浦講師 講演



カルテットカードの様子

## 研修プログラム

時 間	内 容
10:00~10:10	開会
10:10~11:00	講演 1「放射線と健康影響」 講師：杉浦 紳之（公益財団法人原子力安全研究協会）
11:00~11:40	講演 2「食品中の放射性物質の評価と管理の現状等について」 講師：石川 一（消費者庁）
11:40~12:40	昼食
12:40~15:10	ワークショップ「リスクコミュニケーションの実践について」 講師：堀口 逸子（国立大学法人長崎大学）
15:10~15:30	質疑応答及び意見交換
15:30~15:40	閉会、アンケート

<sup>i</sup> カルテットカードはトランプゲームの一種で、4枚1組（カルテット）のカードを集めるゲーム。本研修で使用されたカルテットカードは、放射線のリスクコミュニケーションに関する能力開発を目的として、講師である堀口逸子氏により開発された教材のひとつ。日常生活、放射性物質、測定、有効利用、がん、リスク、不安、国の対応の計8テーマ毎に、関連する言葉が各カードに設定されている。カードで遊んでいるうちに放射線のリスクコミュニケーションに関する知識を習得することができる。